

# 令和元年6月 東京地区百貨店売上高概況

令和元年7月23日

## I. 概況

1. 売上高総額	1,387億円余
2. 前年同月比	-1.3% (3か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭0.0%(92.5%) : 非店頭-15.1%(7.5%) ( )内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (令和元年5月対比±0店)
5. 総店舗面積	835,418㎡ (前年同月比:-0.7%)
6. 総従業員数	17,463人 (前年同月比:-4.5%)
7. 3か月移動平均値	11-1月 -1.2%、12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%、 2-4月 -0.2%、3-5月 -0.6%、4-6月 -1.2%

[参考] 平成30年6月の売上高増減率は6.9%

### 【特徴】

- (1) 6月の東京地区は、低気温や台風の影響などもあり、入店客数は1.1%減と20か月ぶりに前年割れ。特選雑貨や宝飾など高額品は高伸し好調だったが、天候与件による購買心理の低下からクリアランスは苦戦した。盛夏アイテムの動きが悪く、売上高は3か月連続減(1.3%減)となった。
- (2) 商品別では、宝飾、時計、美術、眼鏡等高額商材が牽引し、雑貨(0.5%増)が5か月連続プラス。一方、これまで好調推移していた化粧品は、品薄感に加え、円高によるインバウンドの鈍化もあり51か月ぶりにマイナスした。
- (3) 衣料品(2.1%減)は、夏物アイテムが全般的に不調な中、ジャケット、ワンピース、Tシャツ、パンツは好調だった。紳士服・洋品は前年をクリアし、特選スーツなども動いた。身のまわり品(1.8%減)は、ラグジュアリーブランドなどを含むハンドバッグ、傘、一部改装効果が見られた紳士靴、スニーカーなどのカジュアルシューズが好調も、パンプス、サンダル等の動きはよくなかった。
- (4) 食料品(1.0%減)は、洋菓子、惣菜、和洋酒などが動いたが、涼感のある和菓子やゼリーなどは低調だった。また、生鮮食品の動きが鈍く、天候不順による果物などの入荷減も見られた。
- (5) 中元商戦は、店頭のマイナス分を好調なWEB受注がカバーし推移。なお、10月の消費税率引上げ前の駆け込み需要については、今のところ大きな動きは見られない。
- (6) 7月中間段階の商況は、4.0%減(7/17)で推移している。

### 【要因】

- (1) 営業日数増減 30.0日 (前年同月比 ±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)  
①増加した: 3店、②変化なし: 7店、③減少した: 9店
- (3) 6月歳時記(中元、父の日)の売上 (同上/有効回答数11店舗)  
①増加した: 1店、②変化なし: 5店、③減少した: 5店

## 東京地区百貨店 売上高速報 2019年6月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
<b>総 額</b>	<b>138,787,989</b>	<b>100.0</b>	<b>-1.3</b>
紳士服・洋品	10,853,404	7.8	0.2
婦人服・洋品	22,567,434	16.3	-2.3
子供服・洋品	2,080,311	1.5	-4.7
その他衣料品	2,259,921	1.6	-7.2
<b>衣 料 品</b>	<b>37,761,070</b>	<b>27.2</b>	<b>-2.1</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>19,277,166</b>	<b>13.9</b>	<b>-1.8</b>
化粧品	13,879,176	10.0	-4.4
美術・宝飾・貴金属	11,112,230	8.0	13.7
その他雑貨	5,078,137	3.7	-9.9
<b>雑 貨</b>	<b>30,069,543</b>	<b>21.7</b>	<b>0.5</b>
家具	1,370,232	1.0	-7.1
家電	869,755	0.6	41.3
その他家庭用品	3,221,970	2.3	-12.0
<b>家庭用品</b>	<b>5,461,957</b>	<b>3.9</b>	<b>-5.0</b>
生鮮食品	5,480,428	3.9	-4.2
菓子	10,092,329	7.3	0.8
惣菜	7,155,182	5.2	0.3
その他食料品	14,623,376	10.5	-1.5
<b>食 料 品</b>	<b>37,351,315</b>	<b>26.9</b>	<b>-1.0</b>
<b>食堂 喫茶</b>	<b>2,824,581</b>	<b>2.0</b>	<b>-7.6</b>
<b>サ ー ビ ス</b>	<b>2,012,799</b>	<b>1.5</b>	<b>-1.6</b>
<b>そ の 他</b>	<b>4,029,558</b>	<b>2.9</b>	<b>0.7</b>

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

		対前年増減(-)率(%)
商品券	3,121,594 千円	-29.4
従業員数	17,463 人	-4.5
店舗面積	835,418 m <sup>2</sup>	-0.7
営業日数	30.0 日	前年 30.0 日

## Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が5か月連続のプラスとなった。また、家庭用品が10か月連続、衣料品が8か月連続、身のまわり品が3か月連続、食料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、菓子が10か月連続、美術・宝飾・貴金属が5か月連続、惣菜が4か月連続、紳士服・洋品、家電が3か月ぶりのプラスとなった。

### 【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
<b>総額</b>	<b>-1.3</b>	<b>-</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
紳士服・洋品	0.2	0.0	3か月ぶりプラス
婦人服・洋品	-2.3	-0.4	4か月連続マイナス
子供服・洋品	-4.7	-0.1	9か月連続マイナス
その他衣料品	-7.2	-0.1	4か月連続マイナス
<b>衣料品</b>	<b>-2.1</b>	<b>-0.6</b>	<b>8か月連続マイナス</b>
<b>身のまわり品</b>	<b>-1.8</b>	<b>-0.2</b>	<b>3か月連続マイナス</b>
化粧品	-4.4	-0.4	51か月ぶりマイナス*
美術・宝飾・貴金属	13.7	0.9	5か月連続プラス*
その他雑貨	-9.9	-0.4	5か月連続マイナス*
<b>雑貨</b>	<b>0.5</b>	<b>0.1</b>	<b>5か月連続プラス</b>
家具	-7.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
家電	41.3	0.2	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	-12.0	-0.3	12か月連続マイナス
<b>家庭用品</b>	<b>-5.0</b>	<b>-0.2</b>	<b>10か月連続マイナス</b>
生鮮食品	-4.2	-0.2	9か月連続マイナス*
菓子	0.8	0.1	10か月連続プラス*
惣菜	0.3	0.0	4か月連続プラス*
その他食料品	-1.5	-0.2	3か月ぶりマイナス*
<b>食料品</b>	<b>-1.0</b>	<b>-0.3</b>	<b>2か月連続マイナス</b>
<b>食堂喫茶</b>	<b>-7.6</b>	<b>-0.2</b>	<b>10か月連続マイナス</b>
<b>サービス</b>	<b>-1.6</b>	<b>-0.0</b>	<b>2か月ぶりマイナス</b>
<b>その他</b>	<b>0.7</b>	<b>0.0</b>	<b>5か月ぶりプラス</b>
<b>商品券</b>	<b>-29.4</b>	<b>-0.9</b>	<b>9か月連続マイナス</b>

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで  
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>